

令和4年度第2回 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和4年7月28日(木) 午前10時00分～正午

2 開催場所 浜松市役所 32会議室

3 出席状況

エリア連絡会名	所属	出席者氏名	
中エリア連絡会	中障がい者相談支援センター	藤川 晴海	
	中区社会福祉課	飯塚 康敬	
東エリア連絡会	東障がい者相談支援センター	平野 明臣	
	東区社会福祉課	久野 加津夫	
西・南エリア連絡会	西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一郎	
	西区社会福祉課	宮本 明浩	
	南区社会福祉課	内藤 淳	
北エリア連絡会	北障がい者相談支援センター	本宮 早奈映	
	北区社会福祉課	梶田 和彦	
浜北・天竜エリア連絡会	浜北・天竜障がい者相談支援センター	大柳豆 勇太	
	浜北区社会福祉課	島田 佐栄実	
	天竜区社会福祉課	内山 敦子	
	相談支援事業所シグナル	欠席	
事務局	障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛	
		山下 由佳	
		玉澤 卓也	
		大軒 優一	
	障害保健福祉課	総務調整グループ	宮本 健一郎
		精神保健グループ	河合 龍紀
		生活・就労支援グループ	柴田 多美子
青柳 聖弥			

4 議事内容

(1) 他協議会活動状況報告

- ・精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム推進連絡会
- ・地域生活支援拠点検証委員会

(2) 専門部会報告

- ・虐待対応ワーキング
- ・計画相談ワーキング
- ・こどもワーキング

(3) 第1回市全体会について

(4) その他

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活・就労支援グループ 青柳

6 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

7 会議記録

(1) 他協議会活動状況報告

資料を元に担当より説明

○精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム推進連絡会

・令和4年度の取り組みについて報告。3つのワーキンググループを設置（事例検討ワーキンググループ・ピアワーキンググループ・実態調査ワーキンググループ）。7月に研修会を実施。

・課題となっている未治療者・医療中断者のアウトリーチ支援について、引き続き体制整備を検討する。

<質問・意見>

・ピアサポーターについて、実際の活動は想定されているか。

→当事者として何が出来るかは皆で話し合いをしているところ。

・養成講座を開催してピアサポーターを増やしていくのか。

→養成講座は県で開催しているが、できるだけ地域で養成した方が良いという意見もあり、養成のあり方を検討中。養成した後の受け皿も含めて検討していく必要があり、実態調査ワーキングでピアサポーターに関するニーズ調査を実施予定。

・中エリア連絡会内で当事者の声が少ないと言われているところがある中で、ピアサポーターが養成され団体になっていけば、各エリア連絡会に団体から代表者を選出してもらえるとといったことも視野に入れてもらえたら。

・アウトリーチ支援の検討状況を知りたい。

→県事業とのすみ分けも含めた整理について協議している。本人の同意については、精神

保健福祉審議会でも適正な整理をして支援の妥当性を担保した上で事業を進めていくことを検討したらどうかという意見をいただいている。また、人材面（医療、福祉、行政）の課題もあり、訪問支援の現状も踏まえて引き続き検討していきたい。

・研修について、今後具体的に連携していく仕組み等に発展していくのか。

→医療機関と児童相談所や家庭児童相談室と一緒に参加する研修は、これまで機会が多くなく発見が多かったという意見が多かった。本取り組みは何かしらの形で継続できたらと考えており、引き続き協議していきたい。

○地域生活支援拠点検証委員会

・今年度6月に2回目の委員会を開催して事業検証について協議した。ニーズの適切な把握について、今設置している委託センターのエリアの中で地域生活支援拠点等の機能があると良いと想定され、各エリアでのニーズ把握について検討していきたい、ご協力いただきたい。

(2) 専門部会報告

○虐待対応ワーキング

資料を元に担当より説明

・進捗管理の検討状況について報告。案として、各エリア連絡会事務局会議後に進捗会議を実施することを検討。

<意見>

・中エリアでは、モデル的に2か月前からエリア連絡会事務局会議後に進捗会議を実施している。行政と委託センターが状況を確認し合い、共通認識が持てて良い機会になっている。

・2つの区をまたいでいる委託センターでは、開催方法の工夫が必要ではないか。別々に開催した方が良いこともあるが、判断基準等迷うところもあると思われることから、一緒にやるのも有効ではないかと感じる。

○計画相談ワーキング

資料を元に担当より説明

<質問・意見>

・支援機関の候補は他にあるか。

→公正中立性をもった立場として検討した。対象となり得るケース数は各委託センターで年間10件以下と想定している。

・様式について、基本情報は添付されるのか。

→基本情報は添付する。

・単価や委託内容に含めるといったことは検討しているか。

→今後、方向性により検討が必要になるか。

・地域包括支援センターから、サポートプランの進捗が気になるといった意見があった。

地域包括支援センターは、委託して予防プランを作成している。

- ・今後モデル実施はするか。

→実施していきたい。

- ・現状としては、委託センターからの計画相談支援事業所への依頼は、新規事業所に集中している。

→基幹相談支援センターで計画相談支援事業所のOJTを実施しているが、シビアな状況はある。事業所が増えていけば解消される部分もあるか。

○こどもワーキング

- ・現状の把握と今後の進め方について協議し、アンケート調査を実施していくことになった。8月末でアンケートを終結させて、9月にはワーキングを開催したい。
- ・移行する前から課題があると想定されるため、15歳くらいから18歳までの移行支援の経過や課題について調査予定。
- ・具体的な実践を共有することで、連携の在り方を検討していきたい。

(3) 第1回市全体会について

【各エリアにおける地域課題の検討状況について】

- ・中エリア：昨年度同様、3つの部会を実施。人材部会では、当事者との意見交換会として、事業者向けにひとり暮らし体験支援事業を利用した人に発表してもらい、当事者の声を聞いていただく機会になった。第2回も計画中。事業者の支援に活かしてもらうことが目的。啓発部会では、出前講座を構成員が実施した。エリア全体会では、構成員から、当事者に向けた情報提供をやっていけたらという提案があったので、今年度の課題として取り組んでいきたい。地域課題についての取り組みは、より具体的にはこれからというところ。地域課題はあるが、共同支援会議への選定が難しい。
- ・東エリア：介護保険第二号被保険者の居場所支援について、デイサービスで障害福祉サービスの就労訓練が実施できないか等検討して実施。モデルケースの方が体調不良で現在ストップしているが、事例を継続して結果を出せたら。介護保険と障害分野との連携について、障害福祉サービスの研修会を開催した。また、手引書が欲しいという要望があったため、市へ提案していきたい。余暇支援ワーキンググループでは、居場所の確保について地域にどんなものがあるか関係機関に投げかけをしたが、反応はなかった。集団移動支援の活用等余暇活動について検討・実施したが、人材不足で難しい状況がある。当事者意見交換会については、当事者から発信してもらう機会を計画していきたい。
- ・西・南エリア：昨年度から引き続き防災ワーキングを実施。直近の活動としては、福祉避難所の開設訓練を実施した。「はまかぜ」を借りてトリアージから避難する流れを実施した。災害時はかなりの困難が予想される中で、自分のことを説明できない当事者もいると想定されることから、受付の簡素化や安心情報キット、QRコードで自分の情報を管理する等の工夫が提案された。トリアージについては、見えない障がいへの配慮が難

しく、人材確保やトリアージする時点で見立てる目安となる項目があると良いか。今後、エリア構成員向けに報告会を開催予定。障害保健福祉課や危機管理課との協議も予定している。他エリアにも報告したく、どのような方法で実施するか検討していきたい。

- ・北エリア：「個に還元できること」を主に継続して活動している。今年度からの取り組みとして強度行動障害児者の支援ワーキングを立ち上げ、アンケート調査を実施予定。学校の先生とお話ししていると、強度行動障害者になりそうな子どもが小学校低学年から見えているというところから、そういった傾向が見え始めている子どもへの支援や、大人の事例も取り上げて、その人の支援を考えることを取り組みたい。研修会の開催も検討中。事例検討部会では、今年度から計画相談に事例を発表してもらっている。北区を知ろう部会では、北区内はフォーマルなサービス機関が点在しているため、生活のうらおいに充実が図れると良いという視点から、地域にあるサークル活動などについて情報収集しつつ、当事者がどんな余暇を楽しみたいか聞いていく。こども部会では、アンケート調査を実施したところであり、今年度中に事例検討会を開催予定。
- ・浜北・天竜エリア：課題解決部会では、特別支援学校卒業後の進路先として生活介護事業所に焦点を当て、希望している生活介護事業所に通所できなかったケースについて共同支援会議で検討している。エリアで取り組む課題を整理し、現在は事業所に在籍する看護師に向けたアプローチを検討中。今年度相談支援部会を新たに設置し、事例の報告や検討会を実施。課題の発見や事例検討のスキルアップにもつながれば。横のつながりとしてネットワーク部会を開催しており、天竜区は地区ごとに部会を実施している。啓発活動については、浜北区で開催される行事に天竜区の事業所も参加できるよう調整中。授産品販売の機会を作ってほしいという声があり、取り組んでいきたい。

(4)その他

- ・協議会全体研修について（令和4年11月18日（金）午後）
オンライン開催。個別支援からの地域課題化への取り組みをテーマに意見交換・シンポジウムを開催したい。
 - ・こどもワーキングで年3回研修会を開催予定。9月にアセスメントツールの説明を含めた研修、11月に教育と福祉の連携、1月に児童相談所・家庭児童相談室との連携をテーマに実施予定。
 - ・浜松市ひとり暮らし体験支援事業について、1つの特別支援学校から事業説明の依頼を受けた。他校からも同事業についての問い合わせがあれば、本庁で対応する。
 - ・区の再編に伴い、業務分担等早めに協議して提案していく形にすべきではないか。
- 本課内でも確認しているところ。自立支援協議会についてもどのように運営していくか早めに協議していくことを検討している。

次回企画会議：9月22日（木）10時～ 61会議室